

令和5年度 帖佐中ブロック学力向上アクションプラン

家庭
三二一
各学
学校
にお
ける
学力
向上
に関
する
情報
提供
と理
解推
進

| | | |
|-------------|----------|---|
| 市共通実践事項の具現化 | 学習の構えの確立 | <ol style="list-style-type: none"> 1 授業前の黙想を徹底する。(小学校高学年と中学校) 2 聴くときは話す人の方に体を向け、しっかり聴く。 3 書くときは机と目の距離を意識し、背筋を伸ばして書く。 4 指名されたら「はい」と返事をする。 5 前日に登校の準備を済ませ、忘れ物をしない。 |
| | 学習環境の整備 | <ol style="list-style-type: none"> 1 本時で使うものだけを出す。 2 机の中及びカバン棚を整理する。 3 移動時の教室(机・椅子)を整理する。 |
| | 家庭学習の習慣化 | <ol style="list-style-type: none"> 1 低学年40分、中学年60分、高学年90分、中学生120分(3年生は部活動終了後180分)以上の家庭学習に取り組む。 2 テレビやゲーム、スマホ等の電源を切り、静かな環境で学習する。(メディア午後9時オフ) |

地域
三二一
地学各
域習学
の支校
人援の
材ボ取
・ラ組
団体ン
・職テ
場ア
等リ
のト
学活
習活
動活
への
活用
の情
報提
供と
理解
推
進

| | |
|-------|--|
| 研究テーマ | 振り返りで育む自己調整力と書く力 |
| 研究の仮説 | 児童・生徒が自分の学習過程に能動的にかかわり、見通しをもち(予見)、活動を行い(遂行)、活動について思いを巡らせる(振り返る)ことを繰り返すことで、粘り強く、主体的に取り組む児童・生徒の育成につながるのではないだろうか。 |

| | | |
|-----------|-------|---|
| 研究テーマの具現化 | 部会 | 共通実践事項 (校種や学年に応じた指導を徹底する。) |
| | 学習の自立 | <ol style="list-style-type: none"> 1 学習環境を整え、学業指導を徹底することにより、学習の心構えを身に付けさせる。 2 見通しを持ち児童・生徒が主体的に取り組む授業をデザインする。 ③ 思考力、判断力、表現力を高める授業を実践する。 ・論理的な思考・表現(結論・根拠・理由付け) ・ICTの活用 ④ 振り返りにより自己調整力を身に付けさせる。 5 家庭学習の習慣を身に付けさせる。 |
| | 生活の自立 | <ol style="list-style-type: none"> 1 元気なあいさつを実践させる。 2 清掃活動に一生懸命取り組ませる。 3 思いやりの気持ちを育てる。(言葉遣い) 4 規範意識や我慢する力を高めさせる。 (公共施設や学校内外での行動等) 5 学校や地域の行事に積極的に参加させる。 |
| | 健康の自立 | <ol style="list-style-type: none"> 1 早寝・早起き・朝ご飯・歩いて(自転車で)登下校に取り組ませる。(メディアとの関わりを考えさせる) ※ 就寝の目安 (小) 低9:00 中9:30 高10:00 (中) 11:00 2 交通ルールを守らせる。 3 一校一運動を通し、体力向上に取り組ませる。 4 疾病治療に取り組ませる。 |

※ ◎は今年度の最重点課題